



米沢有為会 米沢支部だより

第 33 号

平成28年 8月25日

発行者

(公社)米沢有為会米沢支部

支部長 中川 勝

米沢市金池5-2-25

☎ 0238-22-5111

公益社団法人米沢有為会米沢支部総会を5月28日(土)午後3時からホテルサンルート米沢で開催しました。議事では平成27年度(公社)米沢有為会米沢支部の庶務報告、支部決算報告を承認。28年度の支部事業計画(案)と予算(案)も原案通り可決されました。

次に、理事の辞任に伴う補充(案)について審議され、承認されました。

総会に引き続き米沢支部表彰が行われ、18個人、7団体に特別表彰が贈られました。(詳細は次のページに)



(公社) 米沢有為会
米沢支部長

中川

勝

明るい未来に向かって

蝉しぐれの夏にも終わりを告げ、いつしか秋の虫たちの声に初秋を感じる季節となりました。

米沢有為会米沢支部会員の皆様には、日頃より置賜の地域発展のために力強いご支援・ご協力を賜っておりますことに敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

私は、昨年12月第36代米沢市長に就任いたしました。これまで市議会議員、県議会議員としての32年間、より良い地域づくりに邁進してまいりました。今後も置賜の各市町と連携を密にし、地域の更なる発展、そして歴史ある米沢有為会の発展のため取り組んでまいりたいと存じます。

明治22年、名譽市民である伊東忠太博士ら6名により発足した米沢有為会は、現在に至るまで郷土愛を背景に社会に有為な人材を育て、地域の教育・文化、産業の振興等に貢献してこられました。多くの郷土出身者が社会の中で活躍しておられることは大変喜ばしいことですし、大きな志をもって、自分が思い描く夢や目標にチャレンジし、実現しようとする置賜の小中高校生、大学生の存在に、明るい未来を感じております。

現在わが国をみると少子高齢化、経済の低迷などにより地方の活力が失われています。地方創生が叫ばれている今、将来にわたり地域資源を活かした持続可能なまちをいかに創り上げていくかによって、自治体の力量が問われるものと考えています。その中の最重要な課題として「人材の育成」があり、まさに本会事業が目指すべき方向性と同じです。「まちづくり」は「人づくり」とも言われますので、将来社会に貢献したいと考える若者を育成していくことに力を注いでいかなければなりません。

先人が築いてこられた本会創立の原点に立ち返り、会員の皆様方のお力添えを頂きながら、故郷への思いをしっかりと受けとめ会の運営を行ってまいりたいと思います。更なるご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

米沢有為会米沢支部だより

18個人・7団体を特別顕彰

支部総会に引き続き行われた表彰式では、表彰規則に基づき次の18個人・7団体が表彰されました。教育功労者・産業功労者は今回も該当者がなく、特別顕彰のみとなりました。

なお、本部表彰者は有為会誌で紹介されます。

受賞者は次のとおりです。
(学校・学年は平成27年度当時のものです。)



支部特別顕彰

(個人)

▼岡崎 拓海さん

(松川小5年)

全国読書感想画コンクール・

奨励賞 同県審査・最優秀賞

▼渡部 優輝さん

(高島小5年)

山形県小学生ソフトテニス大会

5年以下男子シングルス・第1位

5年男子ダブルス・第1位

(東北大会出場)

▼佐藤 碧翔さん

(北部小6年)

全国小学生陸上競技交流大会

山形予選会80Mハードル・第1位

山形県小学校スポーツ優秀賞受賞

▼磯井 七海さん

(西部小6年)

山形県選抜学童水泳大会小学

5・6年女子100M自由形・

優勝

▼駒村 悠太さん

(西部小6年)

全国小学生陸上競技交流大会

山形県予選会男子走幅跳・第1位

▼伊藤 静紅さん

(三沢西部小6年)

全国小学生陸上競技交流大会

山形県予選会女子走高跳・優勝

ほか

▼梅津 拓武さん

(高島小6年)

全国小学生学年別柔道大会県

予選会6年男子50キ口級・第1

位(全国大会出場)

▼荒木 日成さん

(犬川小6年)

山形県小学生陸上競技大会男

子千M・優勝

▼伊藤 悠音さん

(赤湯中1年)

東北中学校陸上競技大会1年

男子100M・優勝 ジュニア

オリンピック男子C100M・

準決勝進出

▼吉田 百那さん

(高島四中1年)

東北中学校陸上競技大会1年

女子千五百M・第2位

▼小倉 七海さん

(長井南中2年)

東北中学校卓球大会女子シン

グルス・第3位

▼佐藤 和さん

(興譲館高1年)

国民体育大会陸上競技少年女

子B100Mハードル・第3位

▼高田 真帆さん

(興譲館高2年)

全国高等学校総合体育大会

フュンシング競技女子個人フ

ルール・第6位

▼齋藤 諒平さん

(九里学園高1年)

全国高等学校陸上競技対校選

手権大会200M・第8位 国

民体育大会陸上競技小年男子B

100M・第2位

▼菊地 葵さん

(九里学園高2年)

日本ジュニア・ユース陸上競

技選手権大会女子200M・第

7位 東北高等学校新人陸上競

技選手権大会200M・優勝

▼高橋かおりさん

(九里学園高3年)

全国高等学校陸上競技対校選

手権大会走幅跳・第2位 国民

体育大会陸上競技会少年少女A

走幅跳・第3位 日本ジュニア・

ユース陸上競技選手権大会ジュ

ニア女子走幅跳・第5位ほか

▼村山 詩織さん

(九里学園高3年)

国民体育大会陸上競技会少年

少女A100M・第7位

▼根本真理子さん

(九里学園高3年)

全国高等学校陸上競技対校選

手権大会100Mハードル・第

7位 東北高等学校陸上競技大

会100Mハードル・優勝

(団体)

▼KBデッパーズミニバスケット

ボールスポーツ少年団女子

チーム

山形県ミニバスケットボール

交歓大会・優勝(全国大会出場)

▼川西中学校男子ホッケー部

東北中学校ホッケー選手権大

会・準優勝 全国大会出場・ベ

スト16

▼川西中学校女子ホッケー部

東北中学校ホッケー選手権大

会・優勝 全国大会出場・ベ

スト16

▼白鷹中学校男子バスケット



ボール部

チャンピオンズカップ横手東北中学校新人バスケットボール大会男子・第3位ほか

▼九里学園高等学校女子リレーチーム

和地彩花さん、菊地葵さん、開沼美帆さん、小貫夢海さん
東北高等学校新人陸上競技選手権大会400Mリレー・優勝

▼九里学園高等学校女子リレーチーム

高橋かおりさん、村山詩織さん、根本真理子さん、菊地葵さん
東北高等学校陸上競技大会400Mリレー・優勝

▼九里学園高等学校陸上競技部
東北高等学校陸上競技大会女子総合・優勝

平成27年度 決 算

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日

〔収入の部〕

項 目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②-①	摘 要
繰越金	707,452	707,452	0	
会 費	2,540,000	2,159,000	△ 381,000	正会費 @ 7,000× 88人 = 616,000 賛助会員(個人) @ 3,000× 331人 = 993,000 賛助会員(法人) @ 10,000× 55人 = 550,000
諸収入	48	71	23	預金利子
〔収入合計〕	3,247,500	2,866,523	△ 380,977	

〔支出の部〕

項 目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②-①	摘 要
1 本部費	1,270,000	1,079,500	△ 190,500	会費納付金 2,159,000 × 1/2
2 事業費	560,000	385,208	△ 174,792	
教育奨励費	200,000	200,934	934	特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	40,000	0	△ 40,000	
講演会・交流会費	120,000	80,594	△ 39,406	案内状郵送、講師謝礼等
支部だより費	200,000	103,680	△ 96,320	支部だより印刷
3 管理費	730,000	484,214	△ 245,786	
事務費	180,000	120,000	△ 60,000	常務理事報酬
会議費	10,000	0	△ 10,000	
総会費	70,000	48,128	△ 21,872	支部総会案内はがき印刷、郵送料
通信運搬費	200,000	119,441	△ 80,559	理事会・本部総会案内・会誌等送料等
印刷費	120,000	131,760	11,760	封筒印刷等
諸手数料	70,000	51,234	△ 18,766	郵便振替手数料(会費振込分)等
消耗什器備品費	50,000	11,807	△ 38,193	プリンタラベル・用紙代等
交通費	20,000	0	△ 20,000	
諸雑費	10,000	1,844	△ 8,156	弔電代
4 予備費	200,000	21,600	△ 178,400	ラジオCM放送代
5 次期繰越金	487,500	896,001	408,501	次年度繰越金
〔支出合計〕	3,247,500	2,866,523	△ 380,977	

平成28年度 予 算

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

〔収入の部〕

項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①-②	摘 要
繰越金	896,001	707,452	188,549	前年度からの繰越金
会 費	2,220,000	2,540,000	△ 320,000	正会費 @ 7,000× 90人 = 630,000 賛助会員(個人) @ 3,000× 330人 = 990,000 賛助会員(法人) @ 10,000× 60人 = 600,000
諸収入	99	48	51	預金利子等
〔収入合計〕	3,116,100	3,247,500	△ 131,400	

〔支出の部〕

項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①-②	摘 要
1 本部費	1,110,000	1,270,000	△ 160,000	会費納付金 2,220,000 × 1/2
2 事業費	580,000	560,000	20,000	
教育奨励費	220,000	200,000	20,000	教育功労・特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	40,000	40,000	0	産業功労表彰状及び記念品等
講演会・交流会費	120,000	120,000	0	講師謝礼及び案内印刷、郵送料等
支部だより費	200,000	200,000	0	支部だより発行(2回)印刷郵送
3 管理費	780,000	730,000	50,000	
事務費	180,000	180,000	0	常務理事報酬
会議費	10,000	10,000	0	諸会議費
総会費	70,000	70,000	0	総会案内、資料印刷、郵送料等
通信運搬費	200,000	200,000	0	理事会・会報・会誌等送料等
印刷費	150,000	120,000	30,000	案内葉書、封筒印刷等
諸手数料	70,000	70,000	0	郵便振替手数料(会費振込分)等
消耗什器備品費	50,000	50,000	0	各種消耗品代等
交通費	30,000	20,000	10,000	各支部等交流旅費等
諸雑費	20,000	10,000	10,000	
4 予備費	200,000	200,000	0	
5 次期繰越金	446,100	487,500	△ 41,400	
〔支出合計〕	3,116,100	3,247,500	△ 131,400	

米沢有為会米沢支部だより

米沢有為会を支援します

株式会社セゾンファクトリー

顧問 齋藤 峰 彰

「おいしいものにこだわりたい」をコンセプトに平成元年に起業いたしました。兄弟で創業しましたが、社長をしていた弟は志半ばで亡くなりました。私は、醤油醸造を営む家に生まれ、東京農業大学醸造学科で学びました。大学3年の春に合宿で長野に行った際に、お土産で購入したぶどうジャムを食べたのが、手づくりジャム製造を起業したきっかけです。世の中にこんなおいしい物があるのかという感動を受けました。

何度も失敗を繰り返しながら皆様のご支援を得て、現在、高畠町元和田に製造工場、米沢市に商品センターがあり、全国の有名デパート等で24店舗の直営店を運営しています。お客様に愛され喜ばれるブランドを目指して、総員260名の会社で成長させて頂きました。

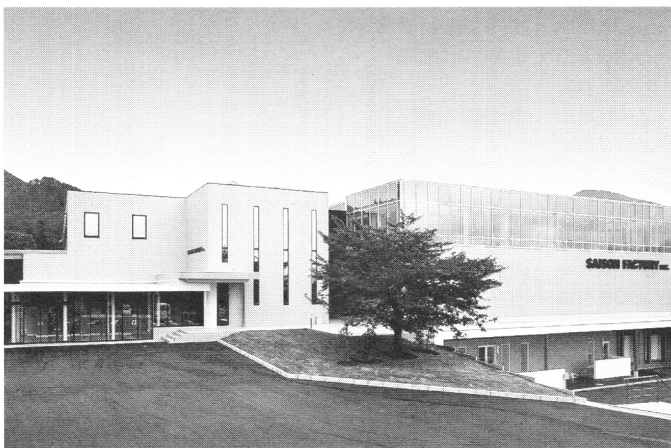
正統派の本物をストーリー性の高い製品に仕上げ、人の手の力で想定外のおいしさ、他社でやっていない物を心掛け、母親から教わった究極のおいさと体に良いものをご提案してまいりました。

当社は食品製造業ですが、目的は食品づくりを通して人間性の向上と人格の形成を学び、社員一人ひとりが明るく楽しくさわやかにと、一流の食品づくりを目指しています。最初はプレハブの工場で11名の社員で創業した会社

ですが、体育会系の元気が売りの社員と高品質に注力し、人間力で世界で戦う食のスーパーブランドになりたいと思っています。

また、社員は若く、自分の個性を発揮し、生きがいとやりがいのある会社になりたいと願っています。新工場建設と同時に平成26年に新社長に交代し、若い圧倒的なパワーが溢れ、地域の皆様に愛される、そしてセゾンファクトリーで働く社員が誇りを持てる会社で成長したいと願っています。

今後も、皆様方のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社ニユーテックシンセイ
代表取締役
荒井 克彦
晃

弊社は1980年7月に設立し、元の大電子機器メーカー等の協力工場として、テレビのプリント基板の生産を開始した。その後も情報通信機器が普及するのに合わせて、FAX、ポケベル、携帯電話の生産など時代に合せて事業を拡大してきた。現在はパソコン、プリンター、ストレージ関係の生産や保守サポート事業を展開している。

2011年からは経営環境の変化に対応するため、電子機器製造で蓄積した生産技術や品質管理技術など自社のコア技術を活かしながら、地域の資源である木材を材料とした木製組立ブロックの企画・製造等新たな分野に進出している。このブロック玩具を木材で製造する取組は、他社でも試みられていたが課題が多数あり、量産化に成功した企業はなかった。この課題に対し、生産技術を木材加工技術に融合・応用展開し、山形大学や工業技術センターなどとの共同研究により、木材ごとに違う硬さや含水量をデータ化するなど、様々な創意工夫を行い、量産化に成功した。

2012年には経済産業省より地域



資源活用事業の認定を受け量産化の開発や国内外の販路開拓に着手した。国内のハンドメイド通販紙への商品掲載をきっかけに、2013年に海外のデザイン系ウェブマガジ

ンへ取り上げられてから反響が大きくなりはじめ、2015年1月に初めて欧州最大級のインテリア・デザイン見本市「メゾン・エ・オブ・ジェ」へ出展し、本格的な海外展開に取り組む。現在はアメリカ、カナダ、ヨーロッパなど世界30か国に木製組立ブロック「もくろック」を届けている。地元で伐採された、カエデやケヤキなど、家具材や建材としては利用できない材料を用いて製品づくりを行っており、置賜地区の木材の新たな用途を見出したことで環境や産業にも好影響を与えている。さらに置賜盆地の資源を活用できるよう「木育」にも着目し、木材の魅力や、自然の魅力を伝えるべく、地域における各種イベントへの出店や、教育施設への教材提供などにも積極的に取り組んでいる。

そんなときに米沢有為会のことを知り、先輩が様々な分野で活躍されて、米沢の産業を支えていることを再認識した。米沢の産業を発展させていくことが私どもの使命として、これからも米沢らしさを活かした事業を開発できるように努力しつつ、米沢有為会の活動へも協力したい。

編集後記

★今年度より広報部長を仰せつかりました手塚宮雄です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

★今年5月の総会で、中川勝市長が新支部長に就任されました。本会のさらなる発展のためにご貢献いただけるものとご期待申し上げます。また、受賞者の一層のご活躍をお祈りいたします。

★昨年10月1日、改修工事完了後再び開館した我妻栄記念館に来館者が徐々に増えていくそう、嬉しい限りです。

★お盆を過ぎれば猛暑の夏も冷房も懐かしくさえると思われて、会員交流芋煮会が待ち遠しいところです。(手)